

茅ヶ崎セントラルクリニック 上野 みゆき

功 績 6月に逝去された臨床工学科助手の上野みゆきさんは15年にわたり勤務をされている中で病気に罹りながらも、何度も回復して復職しました。茅ヶ崎セントラルクリニックで働くのが好きだと言われて長年貢献された功績。

推 薦 者 細川康子、小田島英明

推 薦 理 由 15年間茅ヶ崎セントラルクリニックで働いていた彼女。どんな時でも常に笑顔で絶えず明るく働いていた姿が印象的でした。病気でつらい時や苦しい時もあったでしょうが、それを周りには一切見せることなく、一緒に働く人も元気になるような明るさを持っていました。亡くなる直前まで、もう少し元気になったら復帰するからねと言っていたあなたの笑顔が忘れられません。一緒に働いてくれてありがとう。私たちは最後に上野さんに理事長賞をあげたいと思い、推薦いたします。

内 容

上野みゆきさんは平成17年6月1日に入社されました。

上野さんは看護助手として主にMEの補助として仕事をしていました。MEの仕事の内容は透析機械（コンソール、RO水（透析液）製造装置、透析液供給装置）のメンテナンス、プライミング、穿刺など機械から人体まで幅広いです。

上野みゆきさんはそんな複雑なME業務の中で患者さんのダイアライザーやチューブ等の準備をする為の部材の用意等を担っていただきました。クリニック内には部材を置けるスペースが無くあちこちに置いてある部材を速く正確に揃えていくのは、常にどこに何があるかを把握していなければできない事です。MEが透析の準備をする為に欠かせない部材を、患者ごとに正確に揃えてくれる上野さんの仕事ぶりは本当に大したものでした。

7年前に乳がんを患い、完治したと思ったが今年2月に再発し、手術・化学療法・貧血の為の輸血治療・痛みとの戦いでした。しかし、常にポジティブに病気と共存しながら仕事に取り組んでいました。亡くなった後、ご主人から「闘病中でも出勤しているのを心配して声を掛けても、みゆきはいつでも、『仕事が楽しいのよ』と笑顔でいうんですよ。きっと痛くて苦しいんじゃないかな?と思うんですが、そんな状況でも楽しいと言える仕事は、よっぽど楽しくて支えになっているんだろうなと思って、仕事を辞めるようには言いませんでした。」上野さんにとっても助けてもらっていたけど、上野さん自身も楽しんでくれて、そしてこの仕事を大事に思っていてくれて本当に嬉しかったです。

15年間本当にありがとうございました。お疲れ様でした。これからはゆっくり休んでください。